

# ゆるくるも通信

令和8年3月23日 第22号  
留萌市教育委員会  
教育支援センター「ゆるくるも」

## 一年間のご支援ありがとうございました！

24日には市内各小中学校の修了式を迎え、令和7年度の教育活動もすべて終了となりますが、教育支援センター「ゆるくるも」の今年度の活動についても3月末をもって一旦終了となります。

今年一年間、各学校のご支援・ご協力の下「ゆるくるも」の運営を無事に進めることができました。今年度は2学期末からの入級者が殺到しました。年が明けてからの支援室は毎日とても賑やかでしたが、学校に行けなくなって「ゆるくるも」に通うようになった子どもたちの顔が、仲間との関わりを通して少しずつ明るくなっているのがわかりました。学校に行けない子どもたちにとって、「ゆるくるも」が家でも学校でもない「第三の居場所」として機能していることを実感します。

また、子どもたちが一日でも早く学校に復帰できるようにするための取組も進めてきました。登校支援や別室登校の補助も計画的に進めてきましたが、その際には各校の先生方にご協力いただきました。緊張した面持ちで久しぶりの登校を果たした時、やさしく接してくれる先生方の対応がとても心強かったです。

令和8年度も、今年度から引き続き入級しようと考えている子ども、新たに入級してくる子どもがいると思います。今後もその子が所属する学校の先生方と支援目標を共有しながら取組を進めていきたいと思っています。次年度もたくさん学校をお邪魔するとは思いますが、「ゆるくるも」の取組をご理解いただき、今年度と変わらぬご協力を賜ればと思います。よろしくお願いいたします。



「ゆるくるも」での自由時間。女子が集まって手芸をしているところです。

### 留萌市教育支援センター「ゆるくるも」在籍児童生徒数

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
男		1			1		1	2	1	6
女			1		3	1		2	2	9
計	0	1	1	0	4	1	1	4	3	15

R8. 3. 19現在

# 「ゆっくるも」の取組を振り返って・・・。

令和5年6月に開設した「ゆっくるも」ですが、何もわからないところからスタートして丸3年が経過しようとしています。今年度は、久しぶりに他の教育支援センターの視察に行かせていただいたり、逆に他の市から「ゆっくるも」へ視察に来ていただいたりしました。これらの対応を通じて「ゆっくるも」でのこれまでの取組を俯瞰して見る機会を得ることができました。

不登校支援で一番大事なものは「安心できる居場所」づくりだと思っています。

例えば「ゆっくるも」でも少人数活動、体験活動、雑談や遊びなどを工夫し、通室している子どもたちに「ここなら来てもいい!」と思える環境づくりを進めてきました。

そのためにも私たち指導員が心掛けてきたことは

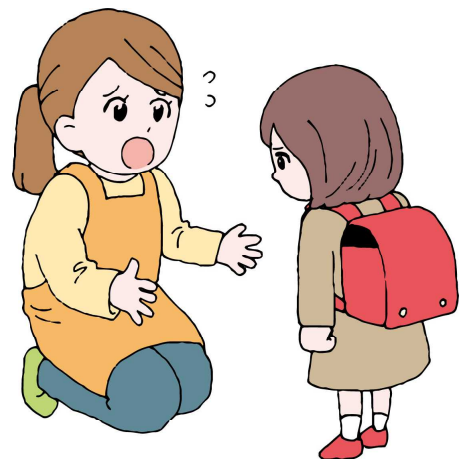
「子どもとの信頼関係づくり」

「保護者支援」

「学校との連携」

この3つがうまくいくと子どもの回復はかなり早くなるのではないかと考えています。とりわけ「学校との連携」については、登校支援の際には各学校において格段の対応をしていただいております。私たちが子どもたちを連れて学校に行った際の各先生方の温かい対応に心から感謝しております。また、「なかなか学校に来れないけれど、ゆっくるもでは元気に活動しているのかな?」といつも気にかけて、「ゆっくるも」に連絡してくれる先生方もいらっしゃいました。次年度も引き続き学校との連携を基本とした支援を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に、「保護者支援」の充実についてです。子どもが学校に行けないということで「ゆっくるも」に相談に来ていただき、保護者の方がお子さんについていろいろお話をしてくださいます。「ゆっくるも」に相談に来ること自体かなり勇気がいるのではないかと考えています。なかには、「学校に行けないと訴える子どもをつい叱ってしまっって・・・」と、自分の子どもに対する対応を悔いていらっしゃる方もいました。自分の子どもが学校に行けなくなったという現実を前に戸惑ってしまうのは当然のことだと思っております。次年度は保護者の方々への支援について、もっと考えていかなければならないと考えています。これまで通り個別の相談は随時行っていきますが、保護者の方が孤立しないための方策、一人で悩まず気軽に相談できる体制づくりなども考えていきたいと思っております。それ以外にも「保護者懇談会」のような保護者同士の交流がもっとできればいいなと思っております。



次年度も度々各学校にお邪魔して、いろいろなお願いをさせていただくかと思っております。引き続きのご指導よろしくお願いいたします。